

授業科目	幼児音楽Ⅱ	2単位	必修	演習	1年通年	担当教員	仲条幸一 板橋華子 山口瑞穂 岡部玲子 山本紀乃					
授業の概要	① 幼児の感性や創造性を豊かにするための手段として、ピアノの演奏や子どもの歌の伴奏ができることを目標とする。 ② 個々の進度に応じた個人レッスンを中心に授業展開し、次回レッスン時までの個別課題を毎時提示する。 ③ 個人の練習は授業時間のみならず、毎日の継続した取り組みが大切となる授業である。											
到達目標				学習成果Ⅰ		学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ				
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 幼児の感性や創造性を豊かにするためのピアノ演奏技能を獲得する。				○	○		○				◎	
2. ピアノの演奏技術を修得しながら、保育現場において実用可能な確かな音楽の知識・技能・表現力を獲得する。				○	○		○		○		◎	
3. 豊かなイメージをもって子どもの歌や童謡を歌いながらピアノを弾くことが出来る。				○			○		○		◎	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション	シラバスに目を通し、授業内容について理解しておく。	1年間の授業展開や個人レッスンの進め方について理解し、現在のピアノ習熟度を担当教員と共有する。 チェックシート「曲を仕上げるまで」に沿った学習法及びテキストの活用法を説明する。				チェックシートに沿った練習方法を確認し、課題が与えられた場合はその課題を練習する。					
2	（個別指導）ハ長調の和音、主和音・属七の和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ハ長調の和音、主和音・属七の和音の課題を練習し、体得する。				ハ長調の和音、主和音・属七の和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
3	（個別指導）分散和音の伴奏形（その1）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、分散和音の伴奏形（その1）の課題を練習し、体得する。				分散和音の伴奏形（その1）に関する課題と、指導された内容を復習する。					
4	（個別指導）分散和音の伴奏形（その2）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、分散和音の伴奏形（その2）の課題を練習し、体得する。				分散和音の伴奏形（その2）に関する課題と、指導された内容を復習する。					
5	（個別指導）分散和音の伴奏形（その3）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、分散和音の伴奏形（その3）の課題を練習し、体得する。				分散和音の伴奏形（その3）に関する課題と、指導された内容を復習する。					
6	（個別指導）分散和音の伴奏形（その4）	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、分散和音の伴奏形（その4）の課題を練習し、体得する。				分散和音の伴奏形（その4）に関する課題と指導された内容を復習する。					
7	（個別指導）ハ長調の下属和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ハ長調の下属和音の課題を練習し、理解する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。				ハ長調の下属和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
8	（個別指導）ヘ長調の和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ヘ長調の和音の課題を練習し、理解する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。				ヘ長調の和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
9	（個別指導）ヘ長調の下属和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ヘ長調の下属和音の課題を練習し、体得する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。				ヘ長調の下属和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
10	（個別指導）ト長調の和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ト長調の和音の課題を練習し、体得する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。				ト長調の和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
11	（個別指導）ト長調の下属和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ト長調の下属和音の課題を練習し、体得する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。				ト長調の下属和音に関する課題と、指導された内容を復習する。					
12	（個別指導）いろいろな伴奏形	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、いろいろな伴奏形の課題を練習する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。				いろいろな伴奏形に関する課題と、指導された内容を復習する。					

13	(個別指導) 二点 C よりの練習	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、二点 C よりの課題を練習し、体得する。 4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。	二点 C よりの練習に関する課題と、指導された内容を復習する。
14	前期末試験課題曲	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	前期末試験課題曲「教本のエチュード1曲」および4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。	前期末試験課題曲を復習する。
15	前期末試験課題曲	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	前期末試験課題曲「教本のエチュード1曲」および4～7月の4曲の弾き歌いを練習する。	前期末試験課題曲を復習する。
16	(個別指導) ハ長調の音階と高い音の練習	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、高い音の練習とハ長調の音階の課題を練習し、体得する。	ハ長調の音階と、高い音の練習に関する課題と、指導された内容を復習する。
17	(個別指導) 低い音の練習とヘ長調の音階	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ヘ長調の音階と低い音の練習の課題を練習し、体得する。	低い音の練習とヘ長調の音階に関する課題と、指導された内容を復習する。
18	(個別指導) ト長調の音階	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ト長調の音階の課題を練習し、体得する。	ト長調の音階に関する課題と、指導された内容を復習する。
19	(個別指導) 臨時記号	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、臨時記号の課題を練習する。	臨時記号に関する課題と、指導された内容を復習する。
20	(個別指導) 半音階	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、半音階の課題を練習し、体得する。	半音階に関する課題と、指導された内容を復習する。
21	(個別指導) イ短調の主要三和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、イ短調の主要三和音の課題を練習し、体得する。 9～3月の7曲の弾き歌いを練習する。	イ短調の主要三和音に関する課題と、指導された内容を復習する。
22	(個別指導) 6度・3度の重音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、6度・3度の重音の課題を練習し、体得する。 9～3月の7曲の弾き歌いを練習する。	6度・3度の重音に関する課題と、指導された内容を復習する。
23	(個別指導) ヘ長調からハ長調への転調	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ヘ長調からハ長調へ転調する課題を練習し、体得する。 9～3月の7曲の弾き歌いを練習する。	ヘ長調からハ長調へ転調する課題と、指導された内容を復習する。
24	(個別指導) 3度の重音と8度の跳躍	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、3度の重音と8度の跳躍の課題を練習し、体得する。 9～3月の7曲の弾き歌いを練習する。	3度の重音と8度の跳躍に関する課題と、指導された内容を復習する。
25	(個別指導) 弱起の曲	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、弱起の曲の課題を練習し、体得する。 9～3月の7曲の弾き歌いを練習する。	弱起の曲に関する課題と、指導された内容を復習する。
26	(個別指導) ニ長調の主要三和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ニ長調の主要三和音の課題を練習し、体得する。	ニ長調の主要三和音に関する課題と、指導された内容を復習する。
27	(個別指導) ニ短調の主要三和音	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	テキスト『大学ピアノ教本』より、ニ短調の主要三和音の課題を練習する。	ニ短調の主要三和音に関する課題と、指導された内容を復習する。
28	(個別指導) 装飾音・複付点音符	指導教員からの指示を受けて個人練習を行う。	後期試験課題曲の(レベル別課題曲)を検討する。	後期末試験課題曲の練習をする。
29	(個別指導) 後期試験課題曲	後期試験課題曲の仕上げをしておく。	後期試験課題曲の完成に向けて授業展開する。	後期末試験課題曲の練習をする。
30	(個別指導) 後期試験課題曲	後期試験課題曲の仕上げをしておく。	後期末試験課題曲の完成に向けて授業展開する。	後期末試験課題曲の完成に向けて練習する。
成績評価	小テストと前期末試験と後期末試験のテスト結果が80%、授業の取り組みを20%とする。 なお、小テストと前期末試験と後期末試験で弾くピアノ曲については、その曲が完成するまで再テストを行う。			
教員からのコメント	<p>ピアノの演奏技術を向上させるには、毎日の練習を続けることが何よりも大事です。ピアノ担当教員は毎回のレッスン時に、皆さんのレベルに合わせた課題とアドバイスを渡します。教員からの助言を踏まえて、コツコツ毎日積み重ねて練習をしましょう。自宅に生のピアノを所持していない学生も、短大のピアノレッスンセンターを活用し、なるべく生のピアノに触れる機会と時間を増やしながらその音を聴き、表現力を身につける為に努力しましょう。また、演奏者も「より良い音楽表現とは何か」を考えることも大切です。自分の好きな音楽だけではなく、クラシックや日本の音楽、アニメの曲などの様々な音楽に触れ、表現の在り方や構造、仕組みに興味を持つと、更に自らの表現力を向上させることに繋がるでしょう。</p> <p>小テストを数回実施します。詳細は、その都度指示します。</p>			
教科書	<p>書名 改訂 幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育</p> <p>著者 石井 恵子, 大見 由香 他</p> <p>発行所 教育芸術社</p>	推薦図書	<p>入学後の個人レッスンの進行状況を踏まえ、「教職課程のための大学ピアノ教本」の他にも、レベルに合った練習曲が記載されたテキストを担当教員から推薦する。</p>	